



兵庫支部NEWS H20年 8月号

北九州市立大学同窓会兵庫支部 編集発行人 名越英昭(Tel.078-792-6130)

ホームページ http://www.hi-net.zaq.ne.jp/kono メール hn75kb@ybb.ne.jp

購読料 12回、1,500円(送料込)

購読のお申し込みは郵便振替

振替口座:00980-2-245822

口座名:北九州市立大学同窓会兵庫支部

兵庫支部月例会7月「囲碁の会」・「三金会」

関西支部からゲスト3人

兵庫支部の月例会、「囲碁の会」と「三金会」は、7月18日(金)関西支部囲碁同好会の3人を迎えて定例会場「雲南茶苑」にて開催された。

出席者:

大村実良(33商)
藤田博保(35商)
平間正昭(37商)
名越英昭(37米英)
二宮慶治郎(38米英)
前原賢作(40商)
安徳信義(44商)
福永憲彦(44商)



関西支部囲碁同好会より

都留猛(32米英) 3段、長谷部新(35商) 5段、
徳丸寛(37商) 5段 以上11名

囲碁交流会での兵庫支部の不振を見かねてか、関西支部囲碁同好会から都留会長及び長谷部5段、徳丸5段の3人が兵庫支部「囲碁の会」に指導を兼ねて遊びにやってこられた。「三金会」が始まるまで時間一杯碁打ちを楽しみ、そのまま「三金会」にも参加して、三金会出席者と親睦を深めた。

午後6時から「三金会」に入り、大村支部長から、7月5日に開催された兵庫支部総会の収支状況について報告があり、本部からの出席者一人当たり1,000円の助成金(36,000円)を加え、これから発生するであろう写真代及び送料を差し引いて若干の黒字予想。

今年の本部総会・懇親会は10月26日(日)に小倉北区のホテルニュータガワで開催を予定されており、総会パンフへの広告協賛依頼があり、例年通り1/2ページ15,000円の広告を出稿することに決定。広告原稿は、安徳信義(44商)副支部長が作成することになった。

(後日右欄掲載の原稿を出稿)

続いて今年度の忘年会について協議したが、支部総会同様、安徳副支部長・幹事長と三宅幹事に一任することになった。

第30回三金ゴルフコンペご案内

9月27日(土)於富士OGMゴルフクラブ小野コース

平成20年度秋季三金ゴルフコンペの開催要領が発表された。今回で第30回と節目の回数を迎えるが、後藤公一副支部長(38商)のご尽力で小野市東部にある富士OGMゴルフクラブ小野コースで3組12名を確保されているので奮ってご参加下さい。

日時:9月27日(土)
7時46分スタート
場所:富士OGMゴルフクラブ小野コース
料金:セルフ12,500円
(朝食、茶店、昼食
表彰会食つき)

会費:2,000円

申込締切日:9月12日(金)

申込先:松山 仁(44商)三金ゴルフ会長

携帯 090-3286-2979

自宅 078-791-3327 会社 078-232-1877

アクセス:車の場合

*山陽道・三木・小野ICより8.5km 10分

*中国道 吉川ICより16km、25分



祝 北九州市立大学同窓会第58回総会



気楽にお出かけください! 兵庫支部一同
月例会「三金会」会場「雲南茶苑」神戸市中央区中山手1-24-4
ドラゴンズビルB1F(みなと銀行北側) 078-271-1168
JR三宮駅・阪急三宮駅北の北野坂を北へ3分
毎月第三金曜日午後6時~8時半 会費 ¥3,500

Come on, to the next stage

今、新たな挑戦

支部長 大村実良(33商)
Tel/Fax 078-671-7318 8316

事務局長 二宮慶治郎(38米英)
携帯 090-5010-4954 Tel/Fax 078-851-1875



損害保険・医療保険・がん保険

の総合保険代理店

安心の発信基地

大村保険サービス

代表 大村実良

(昭和33年商学部卒)

652-0897

神戸市兵庫区駅南通3丁目4-1-302

TEL 078-671-7318 FAX 078-671-8316

「三金会」「囲碁の会」会場ご案内

中国 雲南茶苑
Tel 078-271-1168
神戸市中央区中山手通
1丁目24-4
ドラゴンズビルB1F

「三金会」

毎月第三金曜日午後6時~

会費:3,500円

中国雲南省の家庭料理を

ご賞味ください

「囲碁の会」

毎月第三金曜日午後3時~



(山手幹線沿い北野坂、みなと銀行 地下1F)

インド便り

高森千賀子 (44米英)

兵庫支部の皆様、いつもお世話になっております。お元気でしょうか？毎日暑いことでしょうか。こちらは今年あ雨が降って、2年来の水不足が解消されそうです。でも、まだまだ降ってくれないと今後は心配ですが。前月号にと思っていた原稿がやっとできたので送ります。

－ 8年目のメダカ小学校 －

皆様のご支援のお陰で、メダカ小学校はこの7月で8年目を迎えることが出来ました。大変感謝しています。

今年5年生でメダカ小学校を卒業したラクシュマン君は、とても優秀なのだが、父親が農夫で家が貧しいため今後は公立学校へ行かざるを得なくなった。



(全員進級でき喜ぶ生徒たち)

公立校は授業料が、教師はいるにも関わらず授業は殆んどしない。従ってラクシュマン君は勉強したいという意欲に燃えているのに、この先を考えて非常に落胆していた。

そこで、私はある方からの援助金を彼の為に利用させて頂こうと思いついた。カジュラホには約35の学校がある。この中で2500人もの生徒数を有するバルマントという学校があり、いい教育をしていると言う評だ彼をこの赤穂に入学させたいと思い、我が校の校長に相談した。幸い、校長の父親が元この学校の教師で現在は事務の責任者なので、ラクシュマン君の事をお願いした。そういうことならと、父親は快く応じてくれ、ラクシュマン君の入学料、授業料等、1年間の経費を半額にしてもらえらることになった。これには、当人のラクシュマン君、彼の父親、また我々教師達の喜びはひとしおだ。早速、校長が彼に同行して、転校手続を済ませ、1年間の諸費用を前納した。彼の将来の夢は、医者か弁護士になることで、一生懸命勉強することを約束してくれた。今後は楽しみだ。

さて、今年度は生徒数が48名となった。毎週土曜日には、上級生男子生徒は体育の授業を始めた。インドではクリケットが日本の野球に当たるようなもので、まずキャッチボールの練習からだ。でも生徒は早くバトでボールを打ちたいと焦っている。一方、女子生徒には日本のピアノを使っての音楽の授業を再開した他校では体育や音楽の授業はないので、生徒たちはどちらも興味津々だ。今後、クリケットの試合ができること、学校の行事でピアノの演奏が出来ることを、私は心待ちにしている。(8月1日記)

北九大同窓会本部懇親会チケットご案内

10月26日(日)に小倉北区のホテルニュータガワで開催される総会(11:00～)懇親会(12:30～)の会員券(5,000円)の購入希望者を募ります。

久しぶりに母校を訪ね、小倉の町を徘徊してみませんか？ 申込締切：9月19日(金)三金会まで

申込先：事務局長：二宮慶治郎 Tel&F78-851-1875

李紫君さんコンサートご案内

「三金会」会場の雲南茶苑のママ李紫君さんが主宰する神戸中国雲南芸術交流団が毎年開催している雲南民族音楽コンサートが今年も10月19日(日)午後3時から北野工房のまちで開催される。(右のポスター参照)

今年の兵庫支部総会で平間氏とのデュエットで「茉莉花」を美しいソプラノで聴かせて頂いたのは記憶に新しいところ。

中国雲南省から神戸に舞い降りた孔雀 李紫君の主演、プロデュースによる日中名曲、オペラ、ポピュラーソング、中国楽器と西洋楽器の合奏をお聴き下さい。

入場料：1,500円

お問い合わせ先：090-1027-0457 李紫君さん

078-271-1168 雲南茶苑 李さん



宮部妙美氏(54英文)の著書ご紹介



熊本支部で同窓会活動が続ける宮部妙美氏(54英文)が昨年末に「パラオからの手紙」という小説をペンネーム、スミス妙美で文芸社から出版された。

パカンスを楽しむ国際派カップル。組に追われる若いヤクザ。帰国を拒み戦友を弔い続ける老人。秘められた過去を持つ人々が陽光あふれる南の島で出会った時、運命の歯車が回り出す……という本

の内容だ。

四六版・上製・120頁、定価1,155円(税込)

お問い合わせ先：

文芸社、東京都新宿区新宿1-10-1

Tel 03-5369-2299 Fax 03-5369-3066

宮部妙美氏 Tel&Fax 096-237-3057

E-mail: smithmiyabe@hotmail.com

なお、同氏は他に電子書籍として2冊「グリーンパシ」と「明日に向かって」を著し、e-ブックランド社のウェブサイトに掲載されている。

URLは

http://www.e-bookland.net/gateway_a/index.asp

ご関心のある方はアクセスしてみてください。

投稿大歓迎

皆様のご投稿を待っています

旅行記、随筆、自分史、短歌、俳句、川柳など
あるいは本紙に対する御意見・御感想、何でもOK

広告大歓迎

掲載料：1/10頁、1回500円

お申し込みは6回分3,000円で御願います

『明石海峡大橋を歩いて渡る

海峡・淡路ハイク』に参加して

明石海峡大橋の車道の下にある点検管理用の通路を歩いて渡る催しが年に何回か開催されているが、参加出来るのは抽選で当選した人だけだ。過去に何度も応募したのだが、生来のくじ運の悪さ故当たった事がない。今年は開通10周年ということでいろいろな関係団体が主催して参加者募集をしているようだ。

今回は、山陽電車が明石海峡大橋海上ウォーク実行委員会との共催で参加者を募ったもので、二宮会長が応募して応募者6,500人のなかから見事1,200人の定員の中に入ったもの。ハガキ1枚で5人まで申込可能となっており、今回は二宮会長、立川さんと友人、岡本さんと小生の5人が参加した。

7月19日(土)午前9時半「橋の科学館」前に集合する。当選通知我々は第3班で、9:30~10:00が受付時間となっている。参加料1,500円/一人を払って受付完了。10時過ぎにヘルメットを手渡されアンカレイジの中に入り係員の説明を聞く。

最初の難関はアンカレイジの中の階段を7Fまで上ることだと。係員の先導で階段室に入りゆっくりと上り始めたが、3~4分で7Fの管理通路レベルまで到達した。きっちり階段数を数えたのにメモを紛失してしまっ



(階段入口で説明を聞く)

管理通路への出口に集まり前方に長く伸びる通路を眺め、ワクワクドキドキ。第1歩を踏み出して下を見ると人影が小さく見え高さを実感

する。約30mの高さとのこと。

通路は十分に幅広く両側には柵もあり思ったほど怖さを感じないで歩くことが出来た。

溝蓋のような網状の通路で下が透けて見えるが、海面だけが見えるところでは高さを感じることができないが主塔の台座部分が見える場所では高さを実感する。



(快適に橋上を歩く参加者)



(主塔の台座が透けて見える)

晴天に恵まれさぞかし暑いことだろうと覚悟していたが頭上は車が覆っているので管理通路は陽も当たらず風通しは良いので意外と涼しい。

出口から約1kmで舞子側主塔部に到着。

主塔の辺りではちょっとした広場になっており、参加者が一緒に休憩をとるには都合よくできている。ここで水分補給をして再出発。次の休息場所である淡路側主塔までの約2kmを歩く。



(主塔部の広場で水補給・休憩)

最近二宮会長がお気に入りのデジカメによる動画撮影で我々の橋上を歩く様子を撮影し、毎日新聞



(橋上にて記念撮影)

のウェブサイトに掲載されているので、ご覧ください。

毎日新聞ホームページで「動画」をクリックして、「週間投稿数ランキング」の「兵庫」の項目に「明石海峡を歩いて渡る海峡・淡路ハイク」

の題名で投稿されています。

淡路側主塔部で休憩後残り約1kmを歩くと橋を渡り終わり、淡路側アンカレイジの中の階段を7Fから1Fまで軽やかに下りると、係員が待ち受けてヘルメ



(淡路側橋の袂で完歩記念写真)

ットの回収をし、良く冷えたドリンクを手渡された。完歩記念の写真を橋の下で撮影する。一帯は、道の駅あわじとなっており、お土産店や食堂などがあり、ここでビールを！と思ったが更に2km先の「淡路島ハイウェイオアシス」がゴールを知らされ、我慢してもうひと踏ん張りすることに。ところがどっこい日陰のないアスファルト道路の照り返しと、真夏の陽射しを浴びてしかもオアシスまではずっと続く長い上り坂で意外に体力を消耗しわずか2kmばかりの道のりなのにすっぱりばててしまった。

やっとの思いでオアシス内に設けられたゴールにたどり着いた。完歩証明のスタンプを押してもらい、記念品を受けとってオアシス館で待望のビールにありついた。同館内のレストランで食事をとり、淡路名産「たまねぎスープ」をお土産に買い、帰路に就く。帰りは高速バスで舞子駅までと思っていたが、定員制で乗車できない場合もと、係員に脅かされてフェリー乗り場まで20分余り歩きタコフェリーに乗船して明石港に帰りついた。

10月11日・12日にも、明石海峡大橋海上ウォークが予定されており、「歩こう会」で申込書を数通出しており当たれば皆さんにご案内出来るのだが…。



(炎天下長い上り坂を歩く)

歩こう会 7月例会

五色塚古墳とアジュール舞子・大蔵海岸でBBQ

歩こう会7月例会は、梅雨も明けてカンカン照りの炎天下をJR垂水駅から五色塚古墳経由アジュール舞子海岸そして大蔵海岸までの5キロ弱を汗をたっぷりと掻いて歩き、格別にうまいビールを大蔵海岸ココナッツガーデンパーベキュー会場で心行くまで楽しんだ。

7月13日(日)午前10時JR垂水駅に集合したのは、河野、平間、安徳、名越の同窓生4名とゲスト参加の謝、娘さん、友人1人、立川、角田、鄭山浦夫人。高須及び涼太君の13名だ。いつもながら二宮会長は三田牛肉と食材の買出し・運搬とお世話になる。そのほか現地集合したのは大村支部長、山浦氏、中沢氏と子供一人、明亮さんの6名である。

垂水駅から西へ、商大筋に出たところにある「高尾子安地蔵」の前を通り、明治21年鉄道開通時に現在地に移した県指定重要文化財の遊女塚(宝篋印塔)を訪れる。(写真右)南北朝時代の1337年に造られたもので、垂水沖で溺死した京都の遊女を供養したとも伝えられている由。



(五色塚古墳前で)

た時は雨模様の中、すぐ近くに住んでいた故森下副支部長が案内してくれたのを思い出す。古墳の頂上からの明石海峡大橋の眺めは素晴らしい。

ここから南へ下ると国道2号線を越えてアジュール舞子海岸へとでる。

痛ましい陥没事故の後は長い間閉鎖されたままであったがようやく再開に漕ぎつけたもの。雄大な明石海峡大橋を左前方に眺めながら、真夏の日差しを遮るもの



(明石海峡大橋と移情閣を目指して)

のない海岸沿いの道をひたすら西へ西へと大蔵海岸のパーベキュー会場を目指す。明石海峡大橋の袂には孫文記念館(移情閣)があり、そこで一休みするも見学はせず。舞子駅前には舞子砲台跡(写真右)がある。最近の調査で建造当時の石垣が残されていることが判り、平成19年2月に国史跡に指定された。



舞子砲台跡は国史跡に指定されて正式名称は「明石藩舞子台場跡」になった。対岸の淡路島の「徳島藩松帆台場」と協力して明石海峡を通過する船を挟み打ちせんと目論んだのである。

舞子駅前からは交通量の多い国道2号線を車の排気ガスとカンカン照りの陽射しとアスファルトからの照り返しを一杯に浴びながら進む。いや本当に暑い。ゴールを間近にし



(大蔵海岸に着いた一行)

選手権が開催されていた。(写真下)

電車で先着していた河野先輩が出迎えてくれ、パーベキュー会場まで案内していただき二宮会長が用意した入場券を貰って会場に入る。早速予約席の一つに陣取り、パーベキューを用意して頂いていた二宮会長、山浦氏などを無視した形で

美味しいビールを思い描いてひたすらゴールのパーベキュー会場へと足を運ぶ。さあ大蔵海岸に着いたぞ！

折しも砂浜では関西大学ビーチバレーボー



まずは缶ビールを一息に飲み、まさに生き返った様な至福の旨さを堪能した。

二宮さん、山浦さんゴメンね。勝手に先に飲んじゃって。やがてウイナーや肉が焼け運ばれてきた頃には



(大村支部長も参加して)

大村支部長が缶ビールを手にとってきて酒席も盛り上がる。

水着を用意する様に案内されていたが持参してきたのは、安徳氏と明亮さんと涼太君の三人のみのようだ。



(肉も焼けてきたぞ)

カメラマン二宮氏を同行して海水浴を楽しみに出掛けていった。ここで明亮さんの水着姿を披露出来れば良いのだが…。

約2時間、午後2時頃まで飲んで、食って、駄弁って、そして泳いで、楽しい一日が終わった。

歩こう会9月例会ご案内

小野市金鐘城遺跡を訪ねて

9月14日(日)午前10時神戸電鉄小野駅集合
阪急三宮08:28→08:35新開地
阪神三宮08:31→08:37新開地
神鉄新開地08:46→09:44神鉄小野駅